

大地

四日市市立西陵中学校 第2学年 学年通信
第 35 歩
2008. 6. 17 発行
文章責任者 学年主任 味村貴志

全校レク・学年レクを終えて



全校レク（バットマンレース）

先週水曜日には、生徒会主催の全校レク大会が行われました。もはや伝統となったこの行事、今年も生徒会本部が企画した様々な種目を全校生徒で楽しむことができ、有意義な時間になりました。また、2年生の生徒会役員の3名にとっては、今回の全校レク大会は、「3年生を送る会」、「新入生歓迎会」に続いて、自分たちで企画し、運営する3度目の行事になり、これまで以上に全校の前で活躍することができました。いよいよこの学年も学校の中堅として、様々な場面で全校をリードしていかなければならないのだと思われた行事でもありました。

金曜日の5・6時間目は、実習生の須藤先生がいる期間に合わせて、今年度第1回目の「学年レク大会」を行ないました。全校レクの内容がレクレーション的な種目だったので、違いを持たせようということで今回は球技になりました。内容は教室の生活班単位でチームを組むバスケットボールとクラス全員が入ってのドッチボール。結果はバスケットボールは1組、ドッチボールは2組がそれぞれ優勝し、賞状を仲良く1枚ずつ手にしました。班単位で対戦したバスケットボールは、当然男女混合で行ないましたが、男女関係なく積極的にボールを追いかけ、元気にプレーしていました。特に後半に行なったドッチボールはかなり盛り上がり、時間がもっとほしいと思うようなものになりました。企画、進行をしたのは室長会でしたが、先生からは最小限のアドバイスをもらっただけで、見事に自主的に運営していくことができました。いろいろな点で1年生の時よりずいぶん進歩してきています。

さて、現在、教育相談を進めていますが、友達関係で悩んでいる人も多く、まだまだ「みんなが仲のいいクラスや学年」には及びません。7月には、2学期にある「体育祭」や「文化祭」の選手決定や曲決定が行われます。真のクラスづくり、集団づくりはこれからです。この全校レクや学年レクでの雰囲気を生かし、これからのクラスや学年の取り組みをよりよい方向に向けていきたいと思います。



学年レク（バスケットボール）

CRT（標準学力検査）の結果について

本日、先月末に実施したCRT（標準学力検査）の結果を返却しました。このテストは中学校1年生の学習範囲から出題されたもので、標準的な問題で構成され、観点別の習熟度やアドバイスが返ってくるので、全国の多くの学校で採用されています。

今日返却した個人別の成績表ですが、具体的な点数は書いていないものの、グラフを見ればおおよそどのくらい得点できているかがわかりますし、どの教科のどの観点が強い、弱いかがわかります。点数を気にするのではなく、自分の苦手な観点を知り、そのアドバイスをよく読んで、これからの対策を考えていってほしいと思います。

学年全体としては、どの教科も全国の平均よりは高いのですが、5点以上高い英語や数学に比べると、国語、社会、理科は1点ほど高いだけで、国語の「読む力」など、観点によると平均を大きく下回り、大きな弱点になっているものもあります。これから各教科担当でこの検査結果を分析し、弱点を克服していけるよう、指導方法をさらに改善していく取り組みを進めていきます。

また、今年度も夏季休業期間を利用して、補充学習を行なっていく予定です。詳しくは7月に入ってから学校より案内いたします。ぜひご利用下さい。

★西陵中学校ホームページの「2年生お知らせボード」、毎日更新しております。できる限り写真を入れて、日々の様子を伝えていきますので、ぜひご覧下さい。

